

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 央福祉会	代表者	上田 幸生	法人・事業所の 特徴	法人理念である「やさしい気配り 親思う 慈しみの心」を基本に、利用者一人一人が自分のペースで過ごせるよう、利用者の声を大切にし、主体的に過ごせるよう対応している。利用者の変化にも、すぐ気づき対応できるようスタッフ間の連携を図り情報交換・共有に努めている。 また、当ホームは、法人の理事長が元々住んでいた場所でもあり、名前も屋号からである。そういった部分を活かしながら、地域の行事にも積極的に参加している。また、ホーム内にて地域つどい事業を開催し、地域住民との交流を図り、地域に根付いていけるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム かめやん家	管理者	中川 佑治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	2人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今回の上記の評価に対する意見を踏まえて、スタッフ間で話し合った自己評価について取り組んでいく。	しっかりと分析できており、今後の対応に期待する。取り組んでいることもあるが、さらに改善できる部分に気づかれており、このまま続けていただければと思う。防災に関する課題は多いのが現状である。	しっかりと分析できており、今後の対応に期待する。スタッフ間での小さな情報交換や共有でも一つ一つが大切である。今後もまた様々な意見交換をしていただきたい。改善計画に対して取り組んだ結果、さらに改善できる部分に気づかれており、このまま続けていただければと思う。	現在、出来ていることは引き続き継続していく。また、向上心を忘れず、今回の評価に対する家kn、スタッフ間で話し合った自己評価や改善計画共に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、ホーム内の清潔を意識し、不快な音やにおい等もない様、環境づくりをする。また、地域の方にかめやん家という名前や何をしているのか等、知ってもらえるよう、地域向けのつどいの実施を継続し、地域の行事にも積極的に参加していく。同時に、引き続き、日中は鍵をかけないよう、また、暖かい日には玄関の扉を開けたりし入りやすいような環境づくりをしていく。	現在、出来ていることを継続しながら、さらに入りやすい工夫も、地域と顔の見える関係づくりとして取り組んでいる。ホーム内の清潔を意識した環境づくりをしている。地域向けのつどいの実施を継続しており、地域の行事にも積極的に参加している。日中は鍵をせず、玄関の扉や窓を開けたりと入りやすい環境づくりもしている。	地域に溶け込んでいる感じはする。いつ訪問しても歓迎されているのが良く分かり、アットホームな感じがよい。地域の方々も入りやすいはなっていると思う。事業所内外の音やにおいは気にならない。すべて清潔にされているのが、利用者の方をみたらわかるし、事業所のあちらこちらからもうかがえます。	引き続き、ホーム内の清潔を意識し、不快な音やにおい等もないよう、環境づくりをする。同時に、日中は鍵をかけないよう、また、暖かい日には玄関の扉や窓を開けたりと入りやすい環境づくりを継続する。ホーム周辺にゴミや吸殻等、落ちている場合があるので、スタッフが意識し、ホーム周辺もきれいにしていく。また、スタッフの自転車か乱雑に止めている場合もあり、見た目もよくない。次の人や来苑者が止めやすいよう配慮していく。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き、積極的に地域の行事やイベントに参加し、地域の方知ってもらえるよう取り組んでいる。また、地域の行事やイベントに参加すること、したこと等をもつとかめやん家新聞やホームページ等を活用し、発信していく。自己評価にもあげたが、地域の高齢者だけでなく、幅広い年代との交流も取り組んでいく。	かめやん家新聞やホームページを活用し、取り組んだ内容を発信している。地域の高齢者とのつながりは、地域行事への参加や地域向けの勉強会等の開催で関わり、保育園児との関わりも増えているが、他の年代との交流が図れておらず、取り組んでいない。	地域の行事に積極的に参加している。違う地域の方が、「かめやん家」のことを知っていた。送迎のとき等、近所の方にも元氣よく挨拶してくれている。長年のかかわりもあり、地域では良く知られた事業所となっている。職員も明るく対応されて入りやすい事業所となっている。連合町会の行事参加や地域の年末夜警の参加や手伝い等、参加している。防災のほうでも、もう少し連携や協力が出来たらよりよい。小規模な事業所を活かして、職業体験の受け入れをされてみてはと思う。	引き続き、積極的に地域の行事やイベントに参加し、つどいも継続し、地域の方知ってもらえるよう取り組んでいく。また、地域の行事やイベントに参加したこと等をもつとかめやん家新聞やホームページ等を活用し、発信していく。地域の高齢者だけでなく、幅広い年代との交流について取り組んでいく中で、まずは小学校や中学校との関わりを増やせるようアプローチしていきたい。防災に関しては、ホームとして地域の方と何が出来、どう連携や協力体制が図れるか、運営推進会議や地域とのかかわりの中で意見をきき、進めていきたい。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>自己評価の目標にあげたように、管理者だけでなく、他の職員も利用者と共に地域の人たちとのふれあいや会議等にも参加する機会を確保し、地域との関わりを増やしていく。また、利用者の住んでいる地域の行事にも参加する機会を増やす。その中で利用者の生活・習慣・なじみの環境・人とのつながりを把握し個々の利用者中心となれるようにしていく。</p>	<p>管理者以外のスタッフが夜警や地域行事や会議に参加する機会は増えている。つどい等でも、地域の方と関わる場面は多くなってきた。ホーム周辺の地域との交流や行事参加は出来ているが、各利用者の住んでいる地域とのかかわりや行事参加は出来ていないのが現状である。ケアマネジャーのモニタリングに同席したりし、各利用者の担当中心に利用者の生活や習慣、なじみの環境や人の把握はしている。</p>	<p>利用者希望の買い物や外食、季節の行事等で外出されている。地域行事等にも積極的に参加し、日々の外出等もしている。利用者のそれぞれの地域の様々な事に参加するのは難しいと思うが、時間と希望が合えば、参加してあげていただきたい。お年寄りにとって住み慣れた地域は大切なので。</p>	<p>引き続き、各利用者が地域のイベントや行事に参加できるようにし、外出する機会も増やしていく。また、ホーム周辺の地域行事だけでなく、利用者のそれぞれの住んでいる地域の行事に「希望があれば参加出来るようにする。そのため、利用者の生活・習慣・なじみの環境や人とのつながり等を、把握し対応できるようにしていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>引き続き、運営推進会議では、ホームの取り組み・課題を伝えたり、問題提起をしていく。そうすることで、地域の方とともに考え向上する機会とする。頂いた意見を、スタッフ間で協議し改善に努めていく。また、ホームの中だけでなく、地域の課題や取り組みに対しても、ホームとしてどう関わっていけるかを共に考えていく。上記の意見にもあるように、ホームの利用者だけでなく、地域の心配な方に対して、どうしていくのかも共に考えていきたい。</p>	<p>運営推進会議に、管理者だけでなくスタッフも参加する機会は増えてきた。どうしても、ホームの取り組みや利用者に対しての部分が中心になっている。地域の心配な方に対しても考え、地域とつながる場に引き続きしていきたい。</p>	<p>会議の中では、かなり具体的に活動状況が報告されている。会議での取り組み報告や意見交換で、より良い支援につながっていると思われる。地域との関わりを非常に大切にされているのが良く分かり、取り組みされている。会議を通じて、地域にももっと要望をしめされてもいいのではいか。運営推進会議にスタッフの方が参加し、家族の声を聞くことでモチベーションアップにもつながっていると思う。会議での情報交換は大切なので、もう少し地域の方が参加するとよりよいです。</p>	<p>引き続き、運営推進会議では、ホームの取り組みや課題を伝え、問題提起をしていく。そうすることで、地域の方と共に考え向上する機会とする。様々な意見や情報を聞くためにも、地域の方で参加できるメンバーを増やしていく。ホームの利用者だけでなく、地域の心配な方に対しても、どうしていくのかも共に考えていきたい。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>まだまだ、ホームとして防災についての対応には課題が多く、スタッフの意識も向上するよう取り組んでいかなければいけないのが現状である。まず、それらを取り組むと同時に、ホームの防災マニュアルや防災計画等を伝え、家族や地域の方と意見交換し検討できるよう取り組んでいく。その中で、ホームとしてできる事を伝え、家族や地域と共に、防災対応について検討していきたい。また、ホーム内の防災訓練(消防訓練)にも参加していただくよう声かけしていく。</p>	<p>ホームで定期的に防災訓練や防災の勉強会をし意識向上に努めているが、スタッフの入れ替わりがあると、なかなか浸透していかないのが現状である。また、地域の防災訓練に参加することはあるが、ホーム主催での防災訓練への参加はまだまだ出来ていない。AEDの使い方や、防災の勉強会は、外部の講師を呼び、つどいにて開催している。</p>	<p>区役所の防災担当の人が来て、防災に関するセミナーを開催している。防災についてしっかりと訓練もされているようで、意識は非常に高いと思う。災害時相互応援協定の取り組みも大阪市老人福祉施設連盟でされており、事業所の防災に対する意識は高いと思う。AEDについて、もしものことがあったときに操作が分かるよう、1年に1度でも、繰り返し講習会をしていただきたい。</p>	<p>ホームとして防災についての対応には課題が多く、スタッフの意識も向上するよう取り組んでいかなければいけないのが現状である。それらを取り組むと同時に、ホームの防災マニュアルや防災計画についても伝え、家族や地域の方とも意見交換し見直し検討できるよう取り組んでいく。ホームとして何が出来なのか、どう地域と協力・連携できるのかを共に考えていきたい。また、ホームでの防災訓練(消防訓練)にも参加していただくよう声かけする。AEDについても、つどいの中で、定期的に講習会の開催をしていく。</p>